

2011年2月28日

BPO（放送倫理・番組向上機構）
放送倫理検証委員会 御中

株式会社 BSジャパン

2010年12月2日に放送倫理検証委員会決定としてご通知頂きました「参議院選挙にかかわる4番組についての意見」を受け、その再発防止策を検討してきましたが、その内容がまとまりましたので、これまでの経過と合わせ下記の通りご報告申し上げます。

記

1. 放送倫理検証委員会決定当日の対応について

「BPO・放送倫理検証委員会決定を受けて」と題する社告をマスコミ各社にファックス送信しました（内容は以下の通りです）。

「BPO・放送倫理検証委員会決定」を受けて

BSジャパンが、参議院選挙投票日の7月11日に放送した「絶景に感動！思わず一句 初夏ぶらり旅」の番組の一部で、立候補者を映像露出しました。

この件につき、本日、BPO（放送倫理・番組向上機構）・放送倫理検証委員会から出された「意見書」の中で、「チェック体制の整備は勿論のこと、番組を制作・放送している現場のスタッフ自らが、放送と政治・選挙のかかわりについて日頃から関心を高め、選挙の公平・公正性の意味を考え、感覚を鋭敏にすることも重要である」という趣旨の判断が示されました。

BSジャパンでは、今回の「意見書」を真摯に受け止め、選挙の公平性を損なうことが無いよう再発防止に努めてまいります。

2010年12月2日
株式会社 BSジャパン

上記社告をテレビ東京ホールディングスのホームページに掲載しました。
ニュース番組「NEWS FINE(2部)」(16:52~17:20 テレビ東京・BS
ジャパン同時サイマル放送)内で委員会決定をおよそ1分間放送しました。
BSジャパン番組「MADE IN BS JAPAN(2部)」(19:45~19:55)
内でおよそ1分間、アナウンサーがこれまでの経過説明と謝罪を行いました。
テレビ東京グループの電子連絡掲示板に委員会決定を掲出、グループ社員に閲覧を
呼びかけました。

2. その後の経緯について

1 2月7日のBSジャパン経営会議において経過報告と再発防止に関する対応状
況の説明を行いました。

1 2月9日開催の「BSジャパン放送番組審議会」で経過報告を行い、対応策等に
つき各委員から意見をお聞きしました。

1 2月16日、編成・制作業務の委託先であるテレビ東京と今回の課題を共有する
ことを確認し、再発防止に向けた具体的取り組みを共同で行っていくことで合意し
ました。

3. 再発防止策について

チェック体制の整備

選挙の立候補者、立候補予定者について

業務委託先であるテレビ東京の報道局が、事前にタレント・文化人候補者リスト
を作成します。このリストを報道・制作・スポーツなどの各制作現場、編成部、
宣伝部及びスタンバイセクションへ周知します。

また、タレント・文化人の立候補が判明した時点で、編成部の報道担当がメール
などで周知を図るように励行しています。

立候補者、あるいは立候補予定者が、番組に出演しているかいないかについては、
上記リスト・メールなどをもとに、各番組担当者が責任を持ってチェックいたし
ます。

立候補者および立候補予定者の放送上の扱いについて

弊社放送番組編集基準は、「守るべき基準については『日本民間放送連盟放送基準』によるものとする」としています。『日本民間放送連盟放送基準』では、その第12条において「立候補者および立候補予定者の出演は、公示（告示）後はもちろん、少なくとも公示（告示）の1ヵ月前までには取りやめることが望ましい。なお、公示（告示）の1ヵ月以上前であっても、結果として事前運動的效果をもたらすおそれのある時は、番組であると広告であるとを問わず、出演を取りやめることが望ましい。」と定められています。弊社はこの基準を厳密に守り、選挙の公平性・公正性の確保に最大限の注意を払ってまいります。なお、今回ご指摘いただいた、再放送番組に対する具体的な取り組み内容は以下の通りです。

再放送素材について

- ・レギュラーの再放送枠については、これまでも「統合対照表」（テレビ東京とBSジャパンで放送する番組について、番組ごとにテレビ東京・BSジャパンそれぞれの放送日が一覧表になったもの）と「自主番組在庫リスト」（BSジャパンのみで放送する番組の放送日が一覧表になったもの）をBS編成部の担当者が各担当セクションにメールで送付して確認していましたが、改めて徹底しました。
- ・レギュラー以外の再放送番組については、BS編成部の番組担当者が各番組担当者に2ヶ月前には放送予定を（メール・口頭などで）連絡しています。
- ・特に制作局についてはBS編成部の担当者が毎週行われる連絡会で1ヵ月後までの番組の放送予定を通知しています。
- ・再放送の放送日時が記入されたCMフォーマットをBS編成部の担当者が担当プロデューサーに配布することにより、再放送番組の再確認を促すことにしました。
- ・今回問題になった「土曜スペシャル」の番組販売用再編集素材については、編集後の番組内容を担当プロデューサーとBS編成部の担当者が共有するようにしました。立候補者および立候補予定者が出演していないことの確認は、担当プロデューサーがすることを再確認いたしました。

「選挙の公平・公正性と放送」に関する制作現場の意識向上

研修会の開催

「選挙の公平・公正性と放送」についての認識を深めてもらうため、2月16日18時30分から「放送倫理研修会」を開催しました。関連セクションの管理職を中心に27名が出席し、質疑応答を含め約2時間にわたり大変有意義な研修会となりましたが、講義の内容につき各セクションでの周知を図ってもらうよう、改めて参加者に伝えました

(場 所) テレビ東京別館・てれとプラザ

(講 師) BPO・放送倫理検証委員会 担当調査役

(参加者) BSジャパン、テレビ東京、テレビ東京制作 の各社員

4. 終わりに

貴委員会の「意見」において、「選挙に対する関心の低さが際立っているように思われる」と指摘された弊社は、貴委員会の「意見」を大変重く受け止めております。「意見」でご指摘いただいた通り、番組を制作・放送している現場の全てのスタッフに、あらゆる機会を通して、放送における公平・公正性について徹底していきます。また、3月10日に開催予定の放送番組審議会でも、一連の経過と再発防止策について説明いたします。そして、二度とこうした事態を招くことのないよう、業務委託先であるテレビ東京とともに放送倫理の向上に努めてまいります所存です。

以上